

三心を磨く

学校だより NO. 24

平成29年10月31日(火)発行

須坂市立東中学校

文責:金井 勝久(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

生徒たちの学びの姿から ～第2回アズマデー～

10月19日(木)・20日(金)の2日間、本年度2回目の「アズマデー」が行われました。

今回のアズマデーでは、1年生は「福祉施設(グリーンアルム)への訪問」「絵手紙作り」「哲学対話②(長野県短期大学助教授馬場智一先生による授業)」を行い、2年生は7月の体験を踏まえた二度目の職場体験を2日間、3年生は「車いす体験」「高齢者疑似体験」「先輩による進路講話(パネルディスカッション)」「川崎昭仁さんによるコンサート」と、大変盛りだくさんの取組がありました。

「アズマデー」とは、本校の「一日総合体験日」のことですが、生徒たちはこの体験学習を通して実に多くのことを学んでいます。

4月からの学びで、中学生としての行動の仕方や自分・仲間を知り、職場見学で様々な仕事を知った1年生は、「知る」をキーワードに、さらに見たり聴いたり、そしてちょっぴりやってみたりしながら「知識」を広げています。(写真:絵手紙)

2年生は「PDCA」サイクルで職場体験学習を実施。7月までに「PLAN(プラン)」:職場体験の計画を立て、個人テーマを決め、「DO(ドゥー)」:1回目の職場体験(2日間)を行いました



た。そして「CHECK(チェック)」:1回目体験を終えて、その反省をもとに第2回目の計画を立て、テーマの修正をし、「ACTION(「アクション」)第2回目の職場体験(2日間)に挑みました。「体験する」のキーワードの通り、計4日間の職場体験学習の中で、働くことの意義(厳し

さや楽しさ、いきがいなど)を考える機会となりました。

3年生は、福祉学習(あいサポート研修、講演会、各種福祉体験・疑似体験)や進路学習を進めながら、自己の生き方を見つめ、幅広い視野で社会の中での自分の役割や自分らしい生き方を「考え」ました。高校入試を控えた3年生、この学習が進路選択に活かされていくように思います。

11月9日(木)は、「アズマデー発表会」となっています。生徒たちがアウトプットする姿をぜひご参観ください。



学びの秋 ～教育課程・参観日、東三校研修会から～

秋の深まりが感じられる中、10月はいろいろな「学校公開」が行われました。まさに「学問の秋」です。生徒たちも先生方も、この「学問の秋」にあやかり、共に学んでいる東中学校です。

まず25日(水)には教育課程研究協議会の【外国語〈英語〉】が行われ、3年2組の「英語」の授業公開をしました。上高井郡の小中学校より40名ほどの先生方が共に勉強しました。

また、27日(金)には今年度4回目の「参観日」が行われ、多くの保護者の皆様が参観されました。そして30日(月)は、東三校(仁礼小・豊丘小・東中)・Pict委員会の先生方約50人ほどが参観され、ICTを活用し、協同的な学習に取り組んでいる本校の日常的な授業をみていただきました。



本校の授業では、日常的にICT機器(タブレットや電子黒板、デジタル教科書、書画カメラなど)を活用しています。生徒たちの視覚や聴覚に訴えながら、わかりやすい授業、主体的に学べる授業をめざしています。そんな取組や生徒の姿を各校の先生方に見ていただいているのですが、参観された先生方は「生徒たちがタブレットを使いこなしている」「翻訳ツールで自分の英作文が追究できている」「友だちとの会話が豊かで、男女関係なく、自然なかかわりができている」などと話されています。生徒たちの真摯な学ぶ姿や、先進的にICTを活用し、協同的な学習に取り組む姿が各校の先生方からも高い評価を得ています。

社会の変化と共に、生徒も変わっていきます。ですから学校も変わって行かねばなりません。これからも生徒たちと共に研鑽していきたいと思います。

創立60周年記念講演会 ～小林道男先生のご講演～

10月27日(金)、創立60周年記念事業の締めくくりとして「記念講演会」が60周年実行委員会の主催で、参観日に行われました。

「若いうちに～体験を通じてチャレンジの芽が～」と題して、現在、信州すざか農業小学校豊丘校校長をされている小林道男先生がお話されました。

小林先生のお話には

◇「冒険しよう！」～チャレンジ精神～

◇「アンテナを高く張ろう！」

～ひらめきやヒントのキャッチ～

◇「感謝の気持ちをもつ」～・・・のおかげ～
という上記「3つのキーワード」がありました。

ご自分の経験から、中学生の若さに大きな夢と期待を抱いたお話でした。「・・・のおかげで」とてもいい言葉です。生徒たちには「若さを武器に、いろいろな体験を重ねてほしい」という先生の願い、メッセージが託されました。生徒の皆さんには、失敗を恐れず、自分の夢に向かって、いろいろな経験をしてほしいと思います。



